競技注意事項

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会規則によって行う。

1　100m は予選ー決勝、200m 以上およびリレー、ハードル競技は「タイムレース決勝」とし、フィールド競技は通常の試技で行う。マスターズの部のフィールド種目のトップ8以降の試技は1回とする。

2　トラック種目のタイムレースにおいて、同記録の場合は抽選で決勝進出者を決定する。

3　招集は、以下のように最終点呼を受けること。

トラック競技：**現地招集　競技開始 30 分前～20 分前まで。** フィールド競技：**現地招集　競技開始 40 分前～30 分前まで。**

荒天時等では変更もあり得るので注意すること。

4　アスリートビブスは胸背両面に付けること（跳躍種目は胸か背の片面でもよい）。
腰ナンバーは原則としてチームで用意すること。ない場合は現地で配付する。主催者が用意したものについてはゴール時にナンバーカード係に返却すること。

5　選手変更や当日申込は一切認めない。

6　ウォーミングアップは 8 時 40 分まで競技場内は可。それ以降は補助競技場で行うこと。ただし、補助競技場での投てき練習は禁止する。投てき練習は、招集完了後、競技役員の指示によりフィールド内で行うこと。また、体育館付近での練習や場所取りは厳禁。

7　本部前は、役員・補助員以外の通行を禁止する。また、指定されたゲート以外の使用は禁止する。

8　フィールドは、危険防止のため絶対に横切らないこと。

9　棒高跳のポールとやり投のやり以外は競技場備え付けの用具を使用すること。
また、やりの検査は競技開始 1 時間前から 10 分間スタンド南側用器具庫にて行う。

10　走高跳・棒高跳のバーの上げ方およびフィールド競技の計測ラインについては、公式練習の状況を見て設定することがある。

11　各種目 3 位まで、団体対抗は 3 位まで表彰するが、中学の部と一般高校の部、それぞれの登録団体(団体登録料を払い込んだ団体に限る)のみを対象とする。中学の部は 1 位 6 点～6 位 1 点、一般高校の部は 1 位 8 点～8 位 1 点とし、得点の多い方を上位とする。同点の場合は、上位入賞数により決定する。

12　競技終了後は各団体で使用した場所の清掃を行うこと。また、ゴミは必ず持ち帰ること。場内外のゴミ箱・ゴミステーションには捨てないこと。

13　貴重品は、更衣室設置のロッカー（有料）を利用する等、各自各団体で管理すること。

14　ケガ等についての応急処置は行うが、それ以上のことは各自で処置すること。

15　申込に関する個人情報は、今大会の目的以外に使用することはありません。